

## 思ったらやってみる

16年ぶりにドラマ『ドラゴン桜』(TBS系)の新シリーズがスタートしました。

元暴走族の弁護士 桜木建二が、学力の低い生徒たちを東京大学合格に導く物語です。

放送後は常にトレンド入り、民放テレビ局が連携した公式テレビポータルTVer(ティーバー)ではマイリスト登録数が約60万(5/27現在)で、多くの人に関心を寄せ、話題になっています。

ドラマを見て、「勉強をしたくなった」といったコメントも見られます。さらに、第4話では東大を目指す生徒たちが数学の特訓として小学2年生レベルの算数問題に取り組むシーンがありました。その内容は単純な掛け算や3けた同士の引き算など容易に解ける問題100題を制限時間3分で解くというものです。これは小学生にとって「100マス計算」などでなじみが深く、なかなか点数が取れない場面に、ドラマを見ていた小学生も自分たちと同じことをやっているのと釘付けになっていたようで、小学生にまで影響を与えています。

前回の放送や原作マンガを見て、影響を受けた受験生が多く、「ドラゴン桜を見て東大を目指した」という東大生をたくさん誕生させる契機にもなりました。今回も小学生から受験生まで、その心に火を点けているのかもしれませんが、こういった点で、今年の大学受験ではドラマに刺激を受け、受験勉強に取り組もうとする受験生が多くなるのではないかと予想しています。

この他にも、世間には様々な勉強についての動画や記事がありますが、そういったものを見たり読んだりしてやる気が出て実際に行動に移す人は約10%、さらにそれを継続する人は3%ほどしかないと言われています。思うことは簡単ですが、行動に移すことは難しいものです。桜木の台詞に「行動するヤツだけが勝つ!」というのがあります。まず「思ったらやってみる」で現状から一歩踏み出してみましょう。

(文責 堀)

**『3年の窓』** 去年の今頃は、コロナによる休校が明けたけど修学旅行が中止になりがっかりしていました。縮小されたけど、6月22.23日が楽しみですね。

今年に入って、模擬試験を2回も受けて…多くの人が部活を引退して…卒業アルバムの写真を撮ったりして、すっかり三年生。もう、出席番号も間違えません。夏休みに塾の夏期講習に行こうか考えたり、学校の問題集が終わって家で使う参考書を買ったり、授業が終わった後も学校や塾で勉強したり…確実に受験生として生活が変わってきている人が多くなったことと思います。順調に、3年生=受験生としてのスタートが切れています。この調子で、頑張ってください。

ところで、6月8日から中間考査です。少しは考えて授業を受けていますか。3年生の定期テストは3回しかありません。3回の考査で成績が決まります。今までに比べて1つ1つの比重が大きいよね。あと、推薦を考えている人は、校内判定のために今回の中間考査の成績が大きく影響します。推薦入試の成績としては、前期末考査までが3年生の成績です。今回の中間考査は今までとは少し重さが違います。悔いのない取り組みをしてください。

また、桔梗祭の準備も始まります。一年飛んだけど、高校最後の桔梗祭、思いっきり楽しんでほしい。そのかわり、次のことを守ってほしい。決められた時間の中で精一杯取り組み、だらだらと準備時間を延ばさないこと。勉強がはかどらないのを桔梗祭準備のせいにしなないこと。夏休みに学校で準備して疲れても、家での勉強は予定通り確実にやること。桔梗祭が終わっても、絶対に引きずらないこと。きっぱりと切り替えて、受験勉強に打ち込むこと。1年の時には桔梗祭で活動する3年生の先輩が輝いて見えたと思います。今の君たちも、1年生の目からそう見えるように、輝いてほしいです。

(文責 古田)

## ♪2年の窓♪

### 「基礎」について

「基礎」という言葉は、様々な場面で耳にするとおもう。辞書を引いてみると、“物事を成り立たせる大もとの部分”というような意味が出てきます。

私の趣味であるジャグリングにおいて、「基礎」は非常に大切です。初心者の頃に練習する簡単な技の精度は、上級者になった際の発展的な技のキレ、安定性を左右します。

近年ジャグリング界では、SNSの発達により、難易度の高い技が簡単に視聴でき、マネできるようになりました。このことは良い点も多くありますが、「基礎」を疎かにしたままで、高難易度の技に挑戦してしまう競技者の増加を招いていると思っています。そういう競技者は、技の一つ一つがぎこちなく、よくミスをしてしまいます。

このことを勉強に置き換えてみましょう。個人的には、「基礎」に当たる部分は知識だと思っています。問題を解く(=高難易度の技に挑戦する)際にこの「基礎」を疎かにしては、正解を導く安定性や、発展的な問題に対する閃き等を手に入れることはできないと思います。定期考査という好機を逃さず、まずは各教科について、これまでに習った知識を整理し、キレの良い問題演習を目指しましょう！

(文責：日比野)

## ♪1年の窓♪

### はじめての定期考査 ～時間を制するものはテストを制す～

来週6月8日(火)から前期中間考査が始まります。中学校との違いは何といってもテスト期間です。中学校の考査は1日に何科目もテストがありました。しかし、高校は2～3科目ずつ、4日間にも渡って実施されます。そこで大事になるのが「時間の使い方」です。

- みなさんに与えられる時間は…
- 考査前1週間の放課後から(部活動禁止のため)夜にかけての数時間
  - 直前の週末(6/5と6/6)
  - テスト期間のお昼～夜まで

これだけの十分な時間が与えられているので、ずいぶん勉強がはかどりそうに思えますが、実際にはこの時間を上手に使える人と使えない人がおり、結果にも反映されます。

では、どうすればいいのでしょうか？  
まず、次の2つの図を見てください。



子どもの集中力は小学校高学年でも最大30分程度、大人では最大90分とされています。ところがもう一つの図では、高校生の皆さんを含めある程度成長した人でも本当に集中できるのは「15分周期」であることを示しています。皆さんができることはこれを意識して勉強することです。時間がたっぷりあると思うと逆に集中できない。放課後はしばらく教室に残って勉強。その後は帰宅する道でリフレッシュ。帰宅後はしばらく制服のまま勉強。食事でリフレッシュして勉強。入浴しながらインスタを少しみてリフレッシュ。入浴後に少し勉強。眠くなったらスパッと寝て、朝早く起きて勉強。

**Let's Try!**

(文責：桑原華)